

19/7/20 第 88 回名古屋城天守閣を木造復元し、旧町名を復活する有志の会

千田嘉博・奈良大学教授「名古屋城の石垣とバリアフリーについて、課題と展望」

(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

北見：石垣とバリアフリー 見解を

どこが問題か、どこを直せばいいのか

1 時間後、質疑 30 分後

youtube アップしない 録音、撮影は控えて

マナーモードにして

千田：名古屋城石垣とバリアフリー

大きな話題、問題に直面

石垣部会のメンバーの一人 議論に加わっている

木造天守 計画通りに進まない「石垣部会は悪い人」という報道

「石垣部会に反対」では全くない

これほど記録が残っている天守はない

木造復元 厳密に復元可能 資料がある

ただし、いろんな条件をクリアしないと行けない

全体的な話 基本的なところ

「特別史跡 名古屋城跡」指定制度

文化財指定 国宝、重要文化財

国宝 有形文化財のうち特に価値が高いもの 動産

史跡・特別史跡 土地にくっついている不動産

史跡の国宝が特別史跡

名古屋城では何が特別史跡？石垣や堀、城の形 歴史的価値がある

石垣や堀 守り伝えて伝えるのが名古屋城整備の基本

原則をはずすことはできない

かけがえのない価値の高い文化財

整備・活動していく 例：熊本市「保存活用計画」あらかじめ策定

文化庁が定めたルール

管理団体：自治体（名古屋市） 方針、方法、スケジュール

しっかり専門家を交えて審議し、議会を通して

名古屋城であっても市民のものではなく、国民全体のもの

短期計画

中期計画

長期計画

約束したのが保存活用計画 文化庁が指導・了解  
通常の場合、整備 櫓を建てる、門を整備  
50%を文化庁が補助する  
文化庁 来年度は何をする、次は何をする 予算  
向こう50年間くらい予定 文化庁も計画が立てられる  
強い役所ではない 心づもりで予算編成する  
縛りの強いもの  
かかっているものはできる、かかれていないことはできない  
許可されない 明快  
昭和の時代 「天守建てたい」文化財を壊してしまうことになった  
首長の思いつきではできない

松代城 ほぼすべて復元したもの  
堀は埋め立てられてテニスコートになっていた  
長野市（管理団体）

専門委員会

保存活用計画

石垣発掘調査

古文書・絵図調査

堀・石垣・土塁の修理復元

櫓門・橋の復元

文化庁（指導・許認可）

文化審議会 認可する

発掘 現状変更許可

修理復元 現状変更許可

復元 現状変更許可

どこの城でもこの手順以外はない

許認可されない

それほど大きな建物ではないが、1995年→2004年

何か建物を建てる 10年はかかる 標準

短くするのは困難

情報のキャッチボール 手順を踏んでいかないと

許可が得られなければ何もできない

名古屋城は何が進まないか

手順を名古屋市が踏んでいない

「誰かが悪い」「仲良くすればよい」ではない  
名古屋市が法にもとづいた手順に従っていない  
「保存活用計画」を書きなおさずに、天守木造建設を市が決定  
文化庁の許諾なしに復元設計を開始  
その後、名古屋市は保存活用計画の天守部分だけを書き直す  
「機能を強化する」→木造復元  
文化庁大激怒 書き直しを

#### 文化庁指摘

- ・ 現天守は2億円寄付を得て再建した  
現天守は文化財としての価値がある  
→文化庁は文化財指定する意志を持つ  
ただの鉄筋の建物ではない
- ・ 「耐震強度が不足している」名古屋市の主張は論外  
すべての歴史的建造物はそもそも耐震基準は不適合  
すべての建物を解体しないといけない  
いかに活用・補強するか 文化庁の考え方  
それは「帰れ」といわれる  
文化庁が納得する理屈で行かないと秒殺  
本質的な価値を高め、最も有効であることを文化庁を納得させる必要がある  
「解体する」ことは困難  
法的手続きの瑕疵を理解しないとだめ

客観的に指摘しているだけ。千田に悪意を向けてもしょうがない  
新聞にも書いていない。理解していない

「木造天守でこんなによくなる」という文化庁・文化審議会を納得できる  
理屈をもっていかないと

石垣部会と天守閣部会の位置づけの違い 決定的に違う  
名古屋市がちゃんと説明していない

- ・ 石垣部会 専門家の審議組織として法規に基づいて設置  
→文化庁調査官が出席して審議に助言・指導を与えている  
その場で指導・助言 名古屋市が文化庁に報告している  
その後名古屋市を通じて文化庁から指導がある
- ・ 天守閣部会は、文化庁の許可を得ず、独自にもうけた

設計図作った。

今日に至るまで文化庁は一切関知せず

文化庁調査官は1回も出席せず

- ・石垣部会の職務　なんでえらそうにしているのか？

文化審議会　すべての現状変更　木を植えたい、道付けたい、発掘したい

1回で300～500件来る

文化庁が個々の史跡の現状変更申請が適切な計画になっているか、

史跡の管理団体が文化庁の指示のもとに設置した「専門委員会」の

審議にゆだねられる

石垣部会はそうした「専門委員会」

今風の言葉で言う「権限委譲」

戦後文化財整備、史跡整備の中で作り上げられた

- ・文化庁は「専門委員会」の審議内容は判断が、適切か毎回チェックする

- ・専門委員会は文化庁の指導・助言をふまえて学術的な見地から判断

→必然的に原則として文化庁と同じ結論

- ・「専門委員会」を論破すれば、文化庁は「現状変更」を認めるとするのは間違い。

石垣部会は許認可権を持ってない

文化庁が求める手順に則り、調査研究

革命を起こして現政府を倒す、などしか勝ち目がない

何年も指摘している

勝算があるのか案じている

調査・研究が決定的に不足している名古屋城

文化庁に納得する手順しかない

ほぼ話にならない

膨大な調査と研究しかない　「史跡」だから

戦う資料がない

金沢城　どんどん復元している　二の丸御殿を立体復元　知事がぶちあげ

すごい勢い

石川県金沢城研究所　18年前　20名学芸員で調査から復元で実施

その成果が今見えてきている

2～4年でできることはない

最低10年

名古屋城　調査研究センター　今年に発足

本来10年前に立ち上げるべき　「木造天守に行くぞ」きれい

つくりようがない

## 名古屋城調査レベルの問題

- ・危機的 根石調査 大変遺憾なことに何か所も破壊してしまった  
レベルがきわめて深刻な問題
- 本丸御殿 遺構の保護盛り土がない
- 名古屋城史跡保護の認識 適切さを欠いている疑い

## 名古屋城天守閣西南隅

- 根石 加藤清正が400年前に据え付けたもの
- 掘り込み地業
- 北東角石 空堀の底にまだまだ石が埋まっていた
- 天然の地山を掘り込んだ
- 地山を削ってしまった
- 絶対やってはいけないこと ストッパーなくした
- 100年200年たつと、きわめて深刻
- 止めて調査を完了しないといけない これをやっちゃおしまい

## 本丸御殿 小天守の間 スロープ

- 接近している
- 発掘 幅がないから 根石調査ができない
- スロープは文化庁に書類出していなかった
- スロープで発掘できなかった
- コンクリート基礎 江戸時代の史跡 完全にぶちこわして塩ビ管を入れている
- 書類上はやっていないことになっている
- 埋めた死体掘り起こしちゃったよう
- 遺構面を掘り込んだ

## 奈良

- 奈良時代の遺構面+昭和までの耕作土+整備のための保護盛り土 史跡整備面

## 名古屋城本丸御殿

- 江戸時代の遺構面=名古屋城の本質的価値
- 史跡整備面
- 文化庁の信頼度ゼロ 「おまえだけは心配だ」
- 本当に本丸御殿の遺構面守られているのか？
- 追加調査しないとイケないが、

「調査する」まずい事態

調査研究センター作りませんでしたでは超えられない

調査したら壊しました

石垣部会は悪くない。石垣部会以前の問題

「石垣部会が悪い」が「そうでもない」と思ってきたでしょう？

石垣 S字変形 なおさなければ崩れる

足場 石と石の間に土 赤信号 もうぶつかっているくらい

大きい石の後ろ 栗石の後ろに土 フィルター層

栗石が見えない 最終崩壊段階 絶望的段階

焼けたとき火災 石がバラバラ、表面が剥離

石本来の強度が保てない

見るも涙 バラバラ

名古屋市「石垣は健全」

人間レベルで嘘をついてはいけない 組織ではもっとだめ

名古屋市調査した 図面 西面 赤い・オレンジ

熱で断裂 全体の65%

北面はさらに状況が悪い

最優先にしないと、天守をいじるのはあり得ない

それ以外=文化財を壊すこと

文化庁も言っている

著しいS字変形

ラインになって草 背面まで土が出ているので草

名古屋市の学芸員も知っている

天守台北 御深井側 草生えてる+石材が剥離

もし崩れれば主要な導線 人命に関わる

どうなおすのか

目途や方針、どれくらい直すのか？示しているが名古屋市が言わない

熊本城石垣 私も関わっている

500面崩壊

自分で焼いたので熱劣化している

どちらも特別史跡

今熊本城でやっていることを名古屋城でも

石垣割れている これまでは捨てて、新しい石を入れる 雰囲気としては江戸時代  
多くの石垣崩れた 方針はとらない  
本物を直して使う 熊本の委員会で決めた  
この7月になおした  
剥離したところ含めて強力なエポキシ系樹脂で接着  
石垣 熱劣化し剥離したもの すべて捨てずにくっつけ直す  
角石 涙をのんで電気ドリルで穴 さびないステンレスの棒を入れてくっつける  
解体すれば、本質的価値 割れた石、熱劣化石 すべて元通りにする  
表面から65%  
中で割れているものも 8割  
およそ10年はかかる  
積んだ石 ステンレスピン 全く修理したかわからない  
名古屋城はこれはマスト

名古屋城 基本のカルテ 調査中

根石調査 調査中

石垣評価 赤裸々に見て頂いたが、きわめて危険

名古屋市「安定している」→後に訂正

石垣保全と安定性確保の方法→未検討

10年かかりますよ これをせずに木造天守に行けない

竹中工務店 基礎構造 文化庁から秒殺

跳ね出し架構 文化庁「だめ」

本物の石垣を解体してコンクリートの「跳ね出し架構」を設置

史跡整備の原則から大きく逸脱 文化庁の許可が得られる可能性は皆無

名古屋市はこだわっているが

軌道修正することはできたはず

わかっている人がやれば大遭難することはなかった

私元名古屋市職員

橋 内堀すべて埋める

解体クレーン、構台の下 一個も調査していない

文化庁に出すのは勇気がある！

いいかわるいか判断する材料がない

盛り土しますなど、完璧にたてたうえで文化庁に出さないと行けない

文化財としての調査日は0日

文化庁に秒殺されるに決まっている  
多くの市民が木造天守が復元されれば、と思っている  
私も全く反対していない  
法に則っておく、ルールにしたがわないと、100年たっても無理  
革命を起こすしかない  
石垣部会は悪の結社じゃない  
もっと市民にわかってほしい  
名古屋市 作戦変更しないと断崖しかない

#### バリアフリー

熊本城 鉄筋天守を残す 徹底する 2つのエレベーターを乗り継ぐ  
本丸の中 長大なスロープ 江戸時代のものではないが、鉄とガラスで作る  
徹底的な議論  
健全者しか上れない階段  
これから作っていく  
金沢城 着々と進める賢い石川県 門 立体復元  
櫓門 スロープを付けた  
車いすも入れる  
五十間長屋 スロープ、リフト  
実際にアメリカ人の車いすの人が見ていた  
本物の階段 はしご 靴下はいてるとまずいのでは？  
見学用のゆるやかな階段  
元々は段差があったが、スロープを付けた  
エレベーターを設置した  
構造は金属 周囲をガラスにして存在を目立たなくする  
首里城正殿 玉座  
バリアだらけ 真ん中お庭 ぐるっと見学しながら玉座まで行ける  
リフト、スロープまでいける  
全く支障がない  
すべての人に史跡がひらかれている  
これこそ私たちの時代が求める史跡整備  
軍事要塞ではなく、体感できるように  
「健全者だけ」はあり得ない  
人権の考え方  
「車いすだから、目が見えないからこられない」ではない  
調査研究が大事 いかに両立するか

歴史的な外観、内観  
現代の史跡整備を

自分の意見をいうことは表現の自由だが、  
史実に忠実でないと文化庁に復元が認められない、という人がいれば嘘をついている  
文化庁「文化財の活用のためのバリアフリー化事例集」

名古屋城復元計画も上記に従わないとだめ  
意見は否定するものではないが、文化庁の史跡整備ではバリアフリーが求められている

ブダ城 エレベーター

イギリス リンカーン城 エレベーター

ノリッジ城 エレベーター

ドイツ ケインシュタイン要塞 バリアの固まり 外付けエレベーター設置

これ一つがアトラクションじゃないか？

名古屋城 現天守のエレベーター 決して恥ずかしいことではない

非常に早い段階でバリアフリー 名古屋の叡智を示している

大阪城 天守に行くまですべてバリアフリー

若者もスロープを使う すべての人に優しい

石垣壊して外付けエレベーターけしからん？

石垣あいていて、通路になっていた

将軍用の特別登 歴史復元でもある

名古屋城 本丸御殿、小天守「引きはし」

こっから天守の中に入っていた

大阪城などと同じ

名古屋城 スロープの場所

小天守 穴があった

小天守1階だから見えない

ドイツ エーレンブライトシュタイン要塞 バリアフリー

みんなにひらく

要塞の中 車いすが通れる道を造っている

立体模型 さわる模型

いろんなタイプのものが

展示の説明がついている

マイクの貸し出し 詳しい説明

日本では立体模型 健常者向け さわることは考えていない  
文化庁は反省している  
過去のやつだから 今はだめ  
敵の爆撃 もとの煉瓦ではなく、コンクリート+エレベーター  
バリアの固まり  
軍事施設として史跡整備するのではない  
健常者のためだけにつくるのではない

名古屋城あらためないといけないことが多い  
玉砂利 草刈りいらない  
健常者も歩けない 車いすは入れない  
名古屋城「ゴムマット敷いておきました」  
本丸の中すらいけない  
考え方がおかしい  
年の半分は出店を建てる  
石垣、空堀 遺構 すべて見られない 出店だけ見える  
名古屋市はこれが適切と考えている  
文化庁調査官「いいかげんにしなさい」  
1ミリも近づけない  
こういうところからはじめて

北川：司会  
徳川宗春の研究者  
名古屋城総合事務所 腹立っているのは同じ

千田：どうしてか

北川：お庭の整備  
旧町名を復活させる会  
名古屋城 いろんな意見を賜りながら質問コーナー  
皆さん思っていること  
河村市長「整備計画トップにたって、指導して」と言われたら

千田：お引き受けする  
そうは言ってくれないと思う

北川：どうすれば

千田：整備検討計画 直していない  
文化庁調査官に入ってもらって、真摯に対応  
木造に変えていく  
これ以外 名古屋城活用できない  
作文を作ると8割山は越えた

北川：今日来ている人は、先生がそんな風に考えているとは  
誰も考えていない  
天守閣部会と石垣部会のけんかだと思っている

会場：トップにたったらいつできるか？

千田：最短で着手10年後

会場：石垣修復しながらはできないか

千田：熊本城 平行してやった  
まずは解体の先に、という名古屋市提案  
解体坑がくる  
工事ヤード、堀を埋めたり  
本丸側からできない 内堀側しかない  
外側石垣を調査した上で保全措置  
発泡スチロールのおばけにセンサー  
反応したらどうするの？「どうしようもない」  
石垣にさわらないように構台

会場：じゃあできるのか

千田：工期は可能性だが、作文  
文化庁「現天守は文化財」覆す作文

北川：先生はできるか

千田：わからない

その作文ができないと壊すことすらできない

会場：大阪城と同じように耐震

やれば、いっそのこと、発想を転換して、特別史跡外に  
木造天守を復元するのはどうか

千田：国宝になるかは文化庁が決めること

現天守に価値があり、名古屋市さえOKなら指定される  
将来高い文化財として評価される  
別のところの建てるのは一つの方法

北川：2億円 元は木造だが、いつのまにか鉄筋になったと言う説

千田：そういう気持ちがあったかも

名古屋市だけで決めたわけではない  
現在の制度 文化庁が一方的に権限を持っている  
いつの時代でもあり得る

深田：今の竹中のプランは相容れるのか

千田：竹中設計は史跡整備としては成り立っていない

文化財価値基準 指定されているもの 石垣  
「それを壊して上に忠実」成り立っていない  
奈良 絶対に奈良時代に手を付けない  
石垣をいかに保全するか  
その枠でどう設計するか  
たぶん地下には石垣を壊して鉄骨 成り立っていない  
文化財整備の基本的な考え方 設計者側が認識していれば  
文化庁にだそうとしない  
石垣部会のメンバーだが、天守閣部会の資料は非開示  
文化庁とどういう指導があったかは非開示  
石垣部会に開示されたのは、石垣部分の接続部分  
「これはなりたっていない」

河村のぶちよ：市長選で当選した

鉄筋 みんなが寄付 すばらしいと聞こえる

春日大社 ツインにしたといった  
町内 西川流お稽古場があった  
僕のところも現在の 40-50年しかもたない  
だめなお城 ツインにしてほしい  
春日大社 宮司さん  
奈良の場合 お寺 唐招提寺 「あれを使え」文化庁  
お城のことは知らない  
石垣部分が問題 全部壊して、素人  
ケーソンが入って、ぬかるみ  
ぺんぺん草が生えて、S字状  
何年かかっても、熊本城がいい例 恥じないもの  
市長に言ったら怒鳴られた  
解決してかえりたい  
本物と復元 本を読んで  
本物と呼べる場所はどこか  
観光  
名古屋城1辺しかこないのなら、  
木造にしたい、というのなら、どうか先生のおっしゃる

北川：NHK 「志がシンボルになっていく」感動した  
江戸城 名古屋城に

千田：生まれは豊田 育ちは名古屋

北川：中途半端ではいけない

会場：当初いったように、「石垣部会が悪者」私はそうみていなかった  
麓先生 石垣部会は間違ったことを言っていない  
なるほど  
どうして石垣部会と天守閣部会がけんかしているように見えるのか  
コーディネーターがないからでは  
組織自体が瀬口先生の委員会 下が部会  
上の委員会がコントロールできるのでは  
麓先生「どうして合同部会をしないのか」  
成立過程が違うから？

千田：個人として合同で話し 1回やろうとした

全く支障はない

天守閣部会 文化庁の無許可委員会

文化庁がこれなくなってしまう

ほかの自治体も「こういう復元したい」收拾がつかない

法規上は難案件

天守閣部会を文化庁の許可として再起動

解体 文化庁から許可が得られなかった

全体整備検討会議が機能していない

ダイレクトに行くのではなく、全体整備検討会議を通して

ほぼ機能していない

天守閣部会座長が全体整備検討会議座長

なりたっていない

文化庁にOKをとりにいく

石垣部会「ここがまずい」そのまま文化庁が名古屋市に言ってきている

天守閣部会 ヒートアップしているらしい

石垣部会として天守閣部会を非難したことはない

天守閣部会は建築関係者が多い 史跡整備 こういうこと 理解していないか？

天守閣部会に石垣部会の議論が報告されない

新聞で聞いた

分科会ごとに分断政策

過去の事例では聞いたことがない

北川：どうすればよいか

千田：1ミリも進んでいない

保存活用計画の書き直しができている

名古屋市「復元設計できました」あり得ない事態

文化庁調査官が入って議論

「静謐な環境」文化庁とのやりとり オンブズマンが情報公開請求してもものり弁  
なんともならない

北川：総合事務所が悪いのか

千田：総合事務所も悪い

名古屋市見晴台に就職した

名古屋市 史跡整備をやったことがない

学芸員 全国でも多い

史跡整備 どうやってやって、次に進む 知識も調査技術もない  
進めない

そこから立て直さないと

調査研究センターができたのはきっかけ

服部先生 名古屋出身 文化庁に長くいた  
指導をうけないと

こんな話をしているかわからないが、調査研究センター 重要な転機  
再三お願いしてきた

実態 外部服部先生 職位は高いが、非常勤の職員 予算・人事権もない  
指揮監督ができない

普通 公園をなんとかしたい 調査研究センター 対立する

利害関係が対立するから組織が別

「名古屋城もそうしないとだめ」総合事務所の一部がセンター

理想からほど遠い

名古屋城の調査研究センターが、熊本城・金沢城のようにできる

名古屋センター 予算0

名古屋城絵図がどれくらい残っているか 独自に学術調査する  
予算がなければできない「考えていない」

会場：現状の名古屋城 あまりよくない

文化価値を認めた あまりよい流れではないと考える

先生は木造がよいと考えているか？

千田：条件付き

現天守 歴史展示機能、小天守は収蔵機能

本来はどうするか議論 やっていない

西の丸 収蔵庫 関係のない建物を造っちゃった

収蔵庫目的で許可を得た

展示機能は大幅にダウン

なんとかかっこつけてやっている

整備基本方針からすれば支障がある

会場：私の立場 現状の博物館 「あれもいいんじゃないか、残そう」心配

なんとか木造で いろんな困難

河村市長 強力なリーダーシップがあった  
先生 木造天守ができることにこしたことがないのなら  
木造再建として、リーダーシップを

千田：木造復元否定していないが、  
コントロールできていない  
熊本城 博物館で使ってきた  
これからは虫が入ってこない展示  
博物館として使わない 別途博物館に持って行く  
天守はガイダンスセンター 機能分けをした  
名古屋城 木造にすると機能不全に  
愛知県体育館がいよいよ動く  
二の丸御殿 どうするか  
徳川美術館 いろんなものが分離されている  
展示機能は  
愛知県体育館は遺構は壊されている  
展示機能を分離してはどうか  
交通整理を

北川：すでに二の丸のところ 城主が住んでいたところ  
そこに展示機能があれば

会場：千田先生と河村市長とはどれくらい連絡があるか

千田：事前タウンミーティングで報告者の1人として  
それだけ  
はるか前 選挙直後  
有松絞り

会場：石垣部会で対話は

千田：石垣部会の当初に挨拶は受けた位  
個別会話なし

会場：本体にはあまり影響がないと聞いている  
石垣

天守は6階

なにをケーソン使うか

千田：ケーソンを使う

メリットがある 遺跡を壊したが、取り除くこともできない  
ケーソンで加重をかける

会場：ちゃちゃ入れているように見える

千田：名古屋城 江戸時代の石垣をずっと直している

会場：文化庁はほったらかしで、今頃言ってくる

千田：名古屋市がほったらかし

会場：豊田市 徳川家康たたえる人がいない

シャチもつくった

応援して、名古屋市民の総意

千田：許認可権は一方的に文化庁が持っている

やることはきわめて明快

「文化庁がおっしゃっている」一つ一つやってもらいたい

会場：私も歳

会場：戦争を終わらせた城、戦争で燃えた城 平和のシンボル

みんなが楽しめるシンボル

この市民、名古屋城が好きな人が働きかけ、名古屋城をまともに  
することが大切

北見：個人としては、選挙の結果があったから、木造復元をやっていただきたい

千田先生が与党としてご活躍することを強く希望する

お願いします